

Bcpos Graphical Handbook

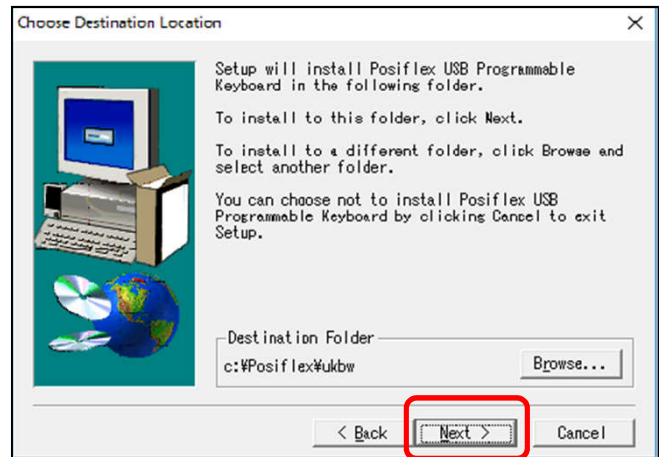
POSキーボード (KB6600U) 設定編

設定ソフトインストール1
設定画面起動・画面説明2
鍵切り替え4
個別キー設定5
設定内容の書き込みと保存8
特殊キー一覧9
文字コード一覧10

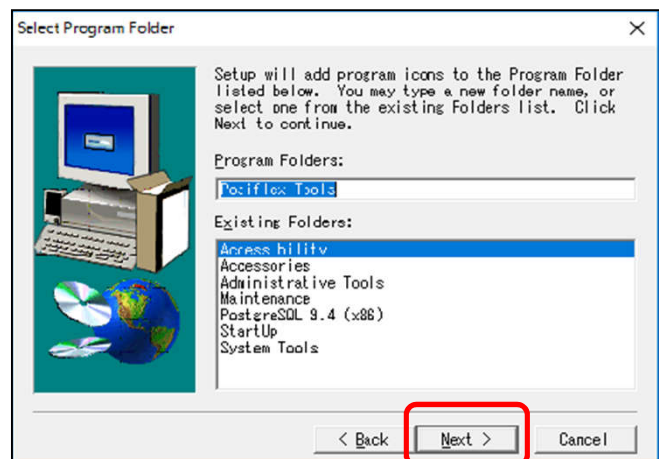
設定ソフトインストール

※インストールはPOSキーボードを接続していない状態で行って下さい。

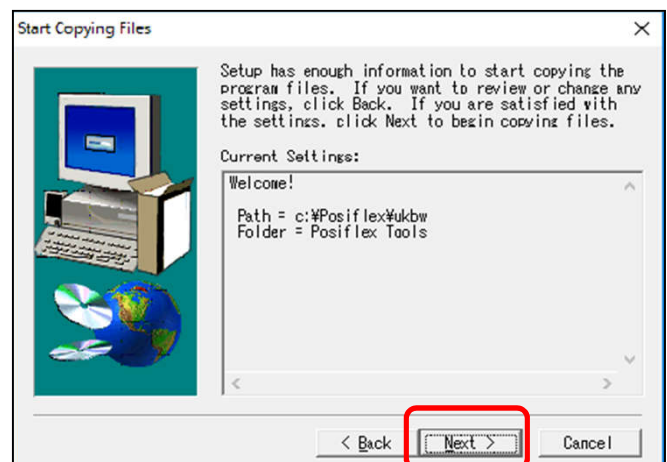
1. 「Setup.exe」を実行して「Next」をクリックします。



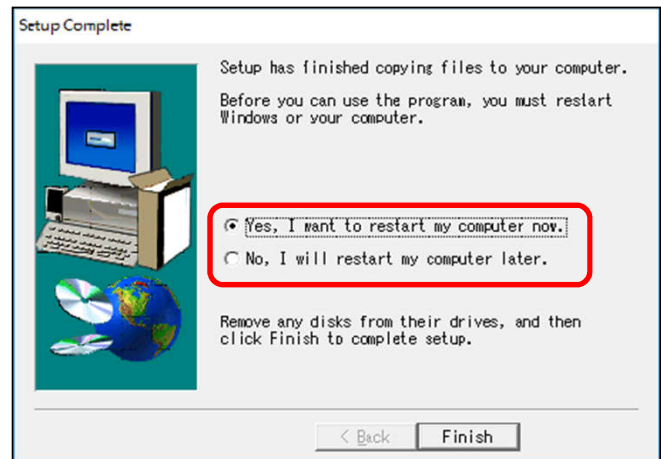
2. 「Next」をクリックします。



3. 「Next」をクリックします。

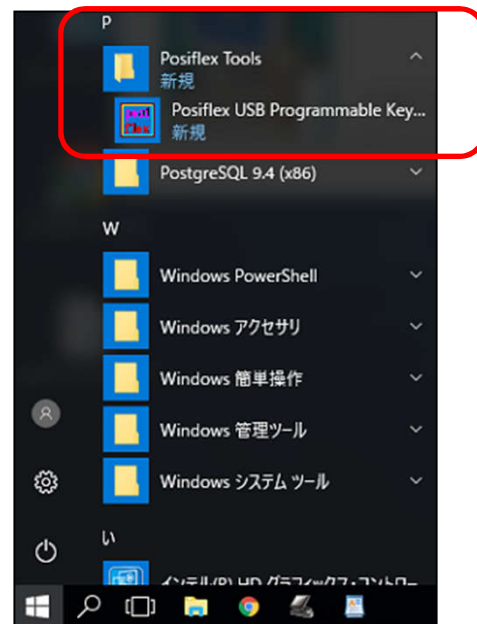


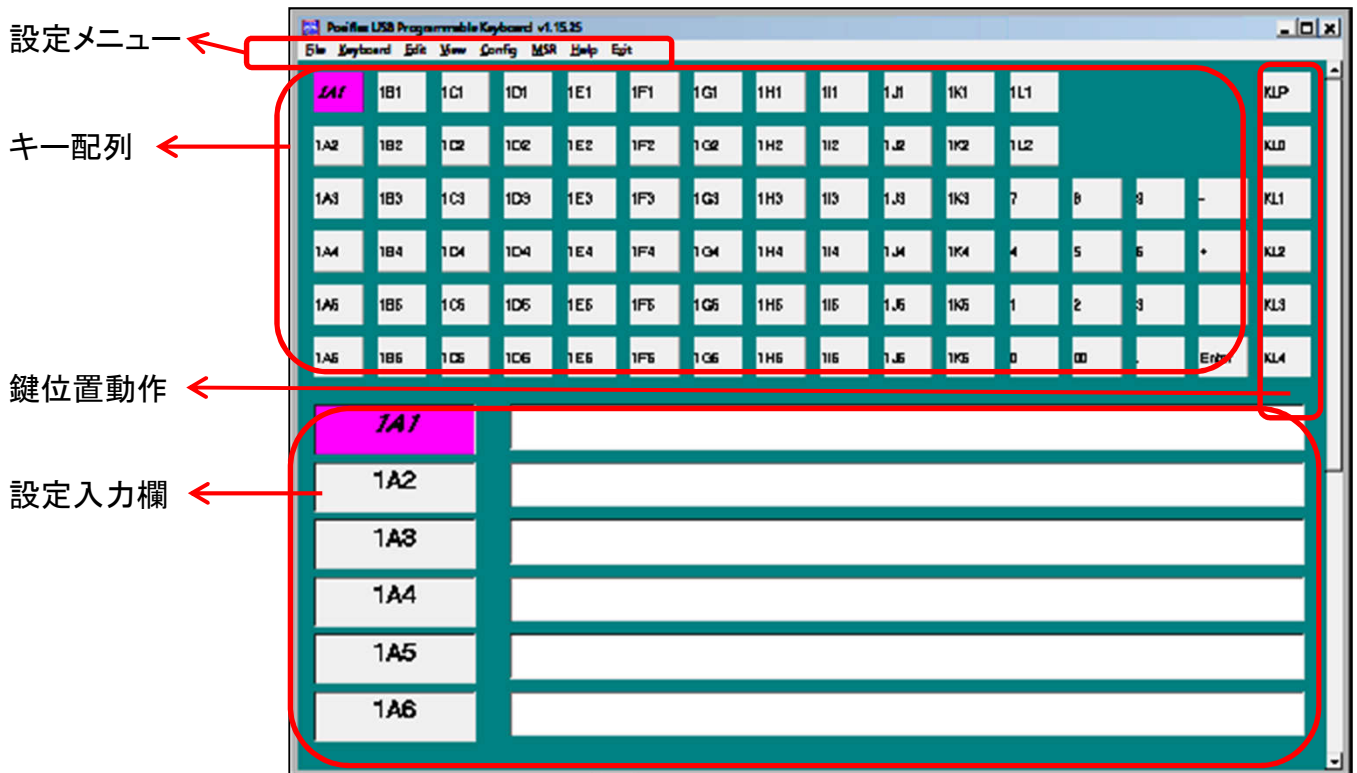
4. インストールが完了しました。
- Yes～にチェックして「Finish」を押すとWindowsが再起動します。
 - No～にチェックして「Finish」を押すとインストール画面が終了するので設定プログラム実行前に再起動して下さい。



設定画面起動・画面説明

1. 再起動後、POSキーボードを接続してスタート>Posiflex Tools>posiflex USB Programmable Keyboardをクリックして設定プログラムを起動します。





◆設定メニュー

- ・File: 設定情報をパソコンにファイルで保存したり、保存した設定ファイルを読み込んだりします。
- ・Keyboard: キーボードに設定した設定情報を読み込んだり、キーボードに設定情報を書き込んだりします。
- ・Edit: 個別のキーの内容をコピーしたり、ページごとの設定内容をコピーしたりします。
- ・View: POSキーボードの鍵の位置により最大5通りのキーボード設定が可能です。
鍵の位置毎の設定内容の切り替えを行います。
- ・Config: 全てのキーを押したときに音を鳴らすか鳴らさないか、押したときに時間に間隔を空けるか空けないかの設定を行います(全てのキーが対象になり、特定のキーだけの設定は出来ません)。
- ・MSR: オプションのMSR(磁気カードリーダー)の設定を行います。
- ・Help: 使用しません。
- ・Exit: 設定プログラムを終了します。

◆キー配列

実際のキーボードに対応した配列表です。
設定したいキーをクリックして設定します。

◆設定入力欄

キーを押した時の動作を設定します。

◆鍵位置動作

POSキーボード右上の鍵の位置を変更した際の動作を設定します。
※通常使用しません。

鍵切り替え

鍵を回して切り替える事で最大5通りの
キーボード配列を使用する事が出来ます。



通常利用のキーボード配列は「L1」、通常使わないキー設定や管理者だけが使える機能は「L2」～「L4」、「LP」に設定する事をお勧めします。

鍵を回す事で下記の動作が可能です。

- LO: ロック状態で全てのキーを押しても動作しません。鍵の抜き差しが可能です。
- L1: キーが動作します。鍵の抜き差しが可能です。
- L2: キーが動作します。鍵の抜き差しは出来ません。
- L3: キーが動作します。鍵の抜き差しは出来ません。
- L4: キーが動作します。鍵の抜き差しは出来ません。
- LP: キーが動作します。鍵の抜き差しは出来ません。

鍵は4種類付属しており、それぞれ回す事が出来る範囲が異なります。
鍵にはそれぞれ刻印がしてあります。

刻印: 範囲

REG: L0～L2

Z : L0～L3

GT : L0～L4

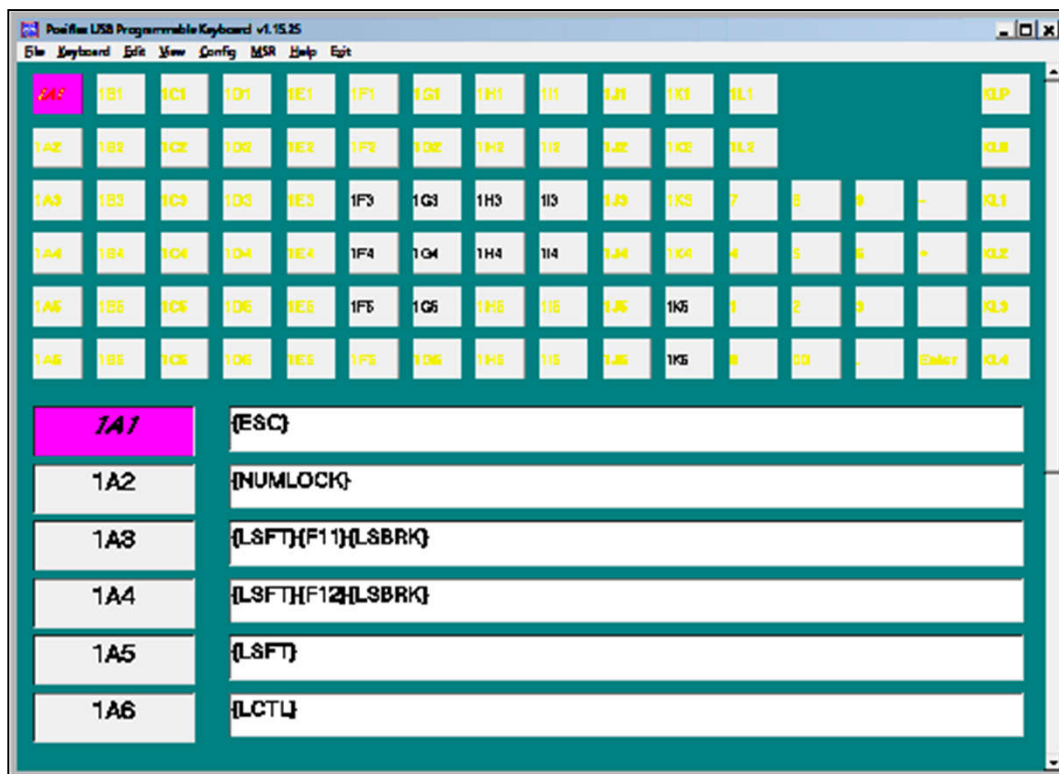
PRG: LP～L3



※鍵の切り替えで設定内容の変更を行わない場合は鍵の位置が「L1」、設定プログラムの初期状態の「Page1」で設定して誤動作防止の為、鍵は抜いてしまう事をお勧めします。

※予備の鍵は付属していませんので大切に扱って下さい。

個別キー設定



設定済みのキーは黄色で表示され、未設定のキーは黒で表示されます。

メニューのViewで鍵ごとのキー配列の切り替えが出来ます。

設定プログラム起動直後は鍵が「L1」の時のPage1が表示されています。

L1はPage1、L2はPage2、L3はPage3、L4はPage4、LPはPageP(L0は動作しないので設定出来ません)。

キーは鍵の位置、左からA、B、C、D～、上から1、2、3、4～の番号や文字が割り振られています。

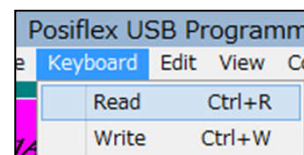
(例)1B3: 鍵がL1の時の左から2番目の上から3番目のキーです。

※Page1のみ画面右端でKLPからKL4の設定項目が表示されます。

鍵を回したときに特定のキーを設定する事が出来ます(通常使用しません)。

(例) 鍵の位置をL3に回した時にキーボードで数字の3を入力させる。

◆既にPOSキーボードに設定されている設定をキーボードから吸い出すには
Keyboard>Readで吸い出す事が可能です。

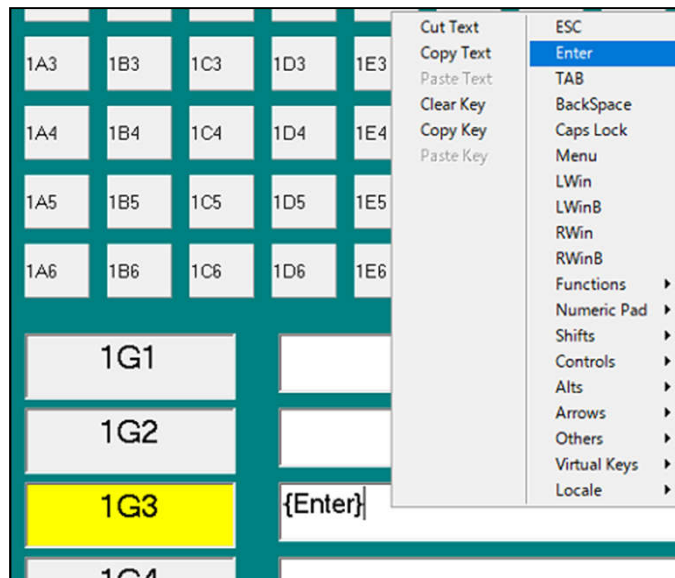


設定したいキーの場所をクリックします。
右の枠に設定したい内容を入力します。

◆F1やEnter、Delete、上下左右などの文字以外のキーを設定したい場合。

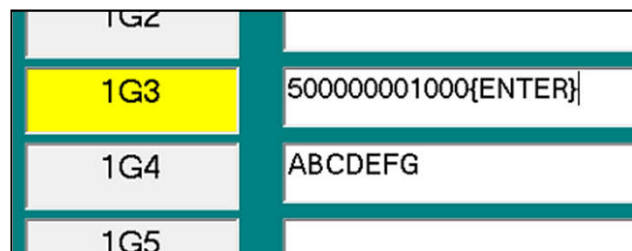
右の枠で右クリックして設定したい内容をクリックします。
テンキーの+、-、/、*、. も右クリックで設定します。

※文字以外のキーは9ページの特
殊キー一覧を参照して下さい。



◆数字やアルファベットを設定したい場合。
右の枠に設定したい数字やアルファベットを入力します。

※商品コードを割り当てる場合、
商品コードの後ろに右クリックで「Enter」を
追加します。



◆記号を設定する場合。

@、<、>、¥、%、&などの記号を設定する場合。

BCPOSはレジ画面で@+exeファイル名を入力するとプログラムファイルの実行が可能です
(例: @Nippohで日報を起動します)。

一部の記号はUSキーボード入力で入力されてしまう為、文字コードでの設定を行います。

※文字コードは10ページの文字コード一覧を参照して下さい。

文字コードは「Alt」+2~3桁の数字になります。

(例:「@」は文字コード「Alt64」なので

{LALT}{N6}{N4}{LABRK}

となります。意味は「左Altキーを押したままで」、「テンキーの6を押す」、「テンキーの4を押す」、「左Altを離す」となります。

さらに「@Nippoh」で日報を起動させる場合は

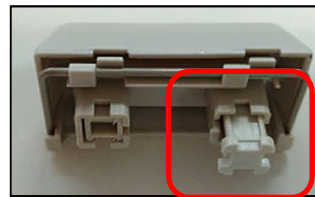
{LALT}{N6}{N4}{LABRK}Nippoh{ENTER}

と設定します。)

◆倍角キーの設定

倍角キーは1か所だけ出っ張っている箇所があるので、その箇所だけキー設定を行います。倍角の2か所両方はいりません。

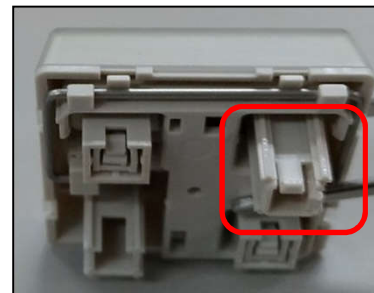
取付は横向きで取り付ける場合は金具がある方を下に、縦向きで取り付ける場合は金具がある方を左にして取り付けて下さい。



◆4倍角キーの設定

4倍角キーは1か所だけ一番長く出っ張っている箇所があるので、その箇所だけキー設定を行います。4倍角の4か所全部はいりません。

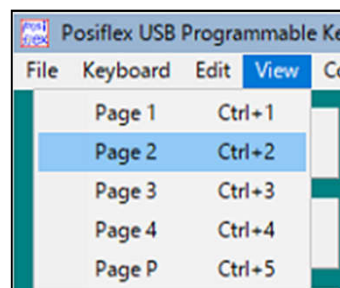
取付は金具がある方を下にして取り付けて下さい。



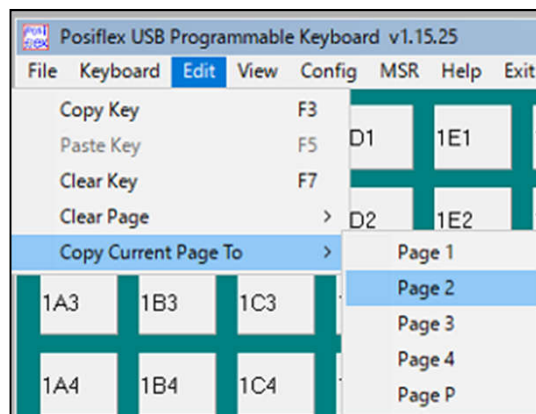
※キーの取り付けには決まった向きがあります。
うまくはまらない場合は向きを変えて取り付けて下さい。
無理に取り付けようとすると破損する場合があります。

◆鍵が「L2」、「L3」、「L4」、「LP」の時の設定方法。

Viewを押すとそれぞれの鍵の位置に対応した設定が可能です。



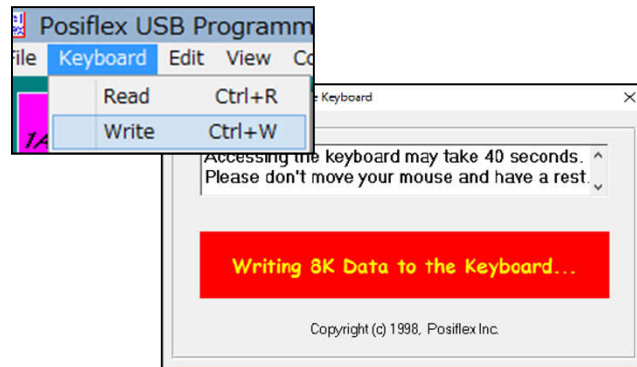
Edit > Copy Current Page Toで設定済みの内容を他の鍵の位置にコピーする事が可能です。



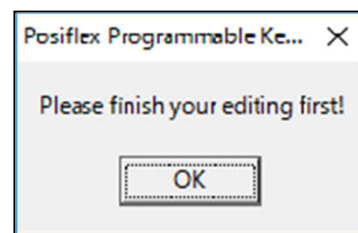
設定内容の書き込みと保存

◆設定内容をPOSキーボードに書き込む場合は

Keyboard>Writeをクリックします。
書き換え画面が表示され音が鳴れば
書き込み成功です。
設定データはキーボードの中に
書き込まれますのでパソコンを変えても
動作可能です。



※右図のエラーで書き込みが出来ない場合は最後に設定したキーの左右どちらかのキーをクリックしてから書き込みを行ってください。



◆設定データをパソコンに保存する場合は

File>Saveでファイル名を付けて設定データの保存を行ってください。
別のPOSキーボードを繋げてFile>Openを行いKeyboard>Writeを実行すればPOSキーボードの複製を作ることが可能です。

特殊キー一覧(右クリックで使用)

	ESC		F1		1	
	Enter		F2		2	
	TAB		F3		3	
	BackSpace		F4		4	
	Caps Lock		F5		5	
	Menu		F6		6	
	LWin	Functions	F7		7	
	LWinB		F8		8	
	RWin		F9	Numeric Pad	9	
	RWinB		F10		0	
	Cut Text		F11		Num Lock	
	Copy Text		F12		/	
	Paste Text		wince F7		*	
	Clear Key				Plus	
	Copy Key				Minus	
	Paste Key				Dot	
					Enter	
Shifts	Left Shift	Others	Power	Virtual Keys	F13	
	Left Shift Break		Sleep		F14	
	Right Shift		Wake Up		F15	
	Right Shift Break		Print Screen		F16	
Controls	Left Control		Scroll Lock		F17	
	Left Control Break		Pause		F18	
	Right Control		Insert		F19	
	Right Control Break		Delete		Span.1	
Alts	Left Alt		Home		Span.2	Locale
	Left Alt Break		End	Henkan		
	Right Alt		Page Up	Hiragana		
	Right Alt Break		Page Down	Ro		
Arrows	Up		Mark			
	Down		Separator			
	Left		Delay 1			
	Right		Delay 3			
		Delay 5				
		Delay 10				
		{				
		}				
		BackSlash				

※Shift、Control、Altにある～Breakは押されているShift、Control、Altを離すという意味です。
 (例){Left Shift}A{Left Shift Break} 左Shiftキーを押しながらAを押して左Shiftキーを離す。

文字コード一覧

!	Alt 33
"	Alt 34
#	Alt 35
\$	Alt 36
%	Alt 37
&	Alt 38
'	Alt 39
(Alt 40
)	Alt 41
*	Alt 42
+	Alt 43
,	Alt 44
—	Alt 45
.	Alt 46
/	Alt 47
0	Alt 48
1	Alt 49
2	Alt 50
3	Alt 51
4	Alt 52
5	Alt 53
6	Alt 54
7	Alt 55
8	Alt 56
9	Alt 57
:	Alt 58
;	Alt 59
<	Alt 60
=	Alt 61
>	Alt 62
?	Alt 63
@	Alt 64
A	Alt 65
B	Alt 66
C	Alt 67

D	Alt 68
E	Alt 69
F	Alt 70
G	Alt 71
H	Alt 72
I	Alt 73
J	Alt 74
K	Alt 75
L	Alt 76
M	Alt 77
N	Alt 78
O	Alt 79
P	Alt 80
Q	Alt 81
R	Alt 82
S	Alt 83
T	Alt 84
U	Alt 85
V	Alt 86
W	Alt 87
X	Alt 88
Y	Alt 89
Z	Alt 90
[Alt 91
¥	Alt 92
]	Alt 93
^	Alt 94
	Alt 95
'	Alt 96
a	Alt 97
b	Alt 98
c	Alt 99
d	Alt 100
e	Alt 101
f	Alt 102

g	Alt 103
h	Alt 104
i	Alt 105
j	Alt 106
k	Alt 107
l	Alt 108
m	Alt 109
n	Alt 110
o	Alt 111
p	Alt 112
q	Alt 113
r	Alt 114
s	Alt 115
t	Alt 116
u	Alt 117
v	Alt 118
w	Alt 119
x	Alt 120
y	Alt 121
z	Alt 122
{	Alt 123
	Alt 124
}	Alt 125
~	Alt 126